



2020年8月11日

各位

会社名 株式会社 プレナス
 代表者名 代表取締役社長 塩井辰男
 (コード番号：9945 東証第一部)
 問合せ先 IR室長 藤波俊行
 (TEL：03-6892-0304)

連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2020年7月10日に公表いたしました「2021年2月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年2月期連結業績予想及び配当予想に関しまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2021年2月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想値の修正(2020年3月1日～2020年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回予想(B)	68,330	△1,130	△920	△1,690	△44円7銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	75,756	182	341	△873	△22円81銭

(2) 2021年2月期通期連結業績予想値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回予想(B)	139,080	△540	△230	△3,010	△78円49銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	149,572	348	729	△2,934	△76円59銭

(3) 修正の理由

ウィズコロナの状況の中、当社グループは引き続き食のインフラ企業としてお客様満足の実現と、お客様と従業員の安全を考慮した店舗運営を実施しており、緊急事態宣言解除後の6月・7月(当社第2四半期中)の既存店売上高前年比は、ほっともつは103.9%・105.8%、やよい軒は76.0%・79.3%、MKレストランは91.7%・99.1%と推移しております。

2021年2月期第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び緊急事態宣言発令に伴い、売上高の適正かつ合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、8月以降の通期の既存店売上高前年比は、ほっともつと101.5%、やよい軒90.4%、MKレストラン94.5%で算出いたしました。ほっともつにつきましては、引き続きデリバリーサービス実施店舗の拡大や既存商品のリニューアル等の販促活動を推進してまいります。また、やよい軒やMKレストランにつきましては、回復基調にはあるものの今期中に前年の水準まで回復することは難しいと見込んでおります。

また、親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、店舗の退店等に伴う固定資産処分損や減損損失などを特別損失として見込んで算出しております。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正

(1) 2021年2月期配当予想の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0円00銭	—	未定	未定
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	—	30円00銭	—	30円00銭	60円00銭

(2) 修正の理由

2021年2月期の通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けたことによって、減収減益を見込んでおります。このような事業環境の中で、当社といたしましては、変化に対応しながら収益回復と企業価値向上を実現するための安定した資金確保を行い財務基盤の安定化を図ることが急務であると認識しております。

つきましては、配当に関する基本方針は現段階で変更しておりませんが、2021年2月期第2四半期末の配当は、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただく予定であります。また、期末の配当は、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い状況が悪化することも懸念され不確実性が高いため、現時点では未定とさせていただきます。

なお、現時点で株主優待制度を変更する予定はございません。

以上